

## ダイオキシン類調査について

本調査は平成 12 年 1 月に施行された「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づき、江戸川区内における環境濃度の現状を調査し環境基準の適合状況を把握するとともに、対策のための基礎資料とします。調査は平成 11 年度から継続して実施しています。

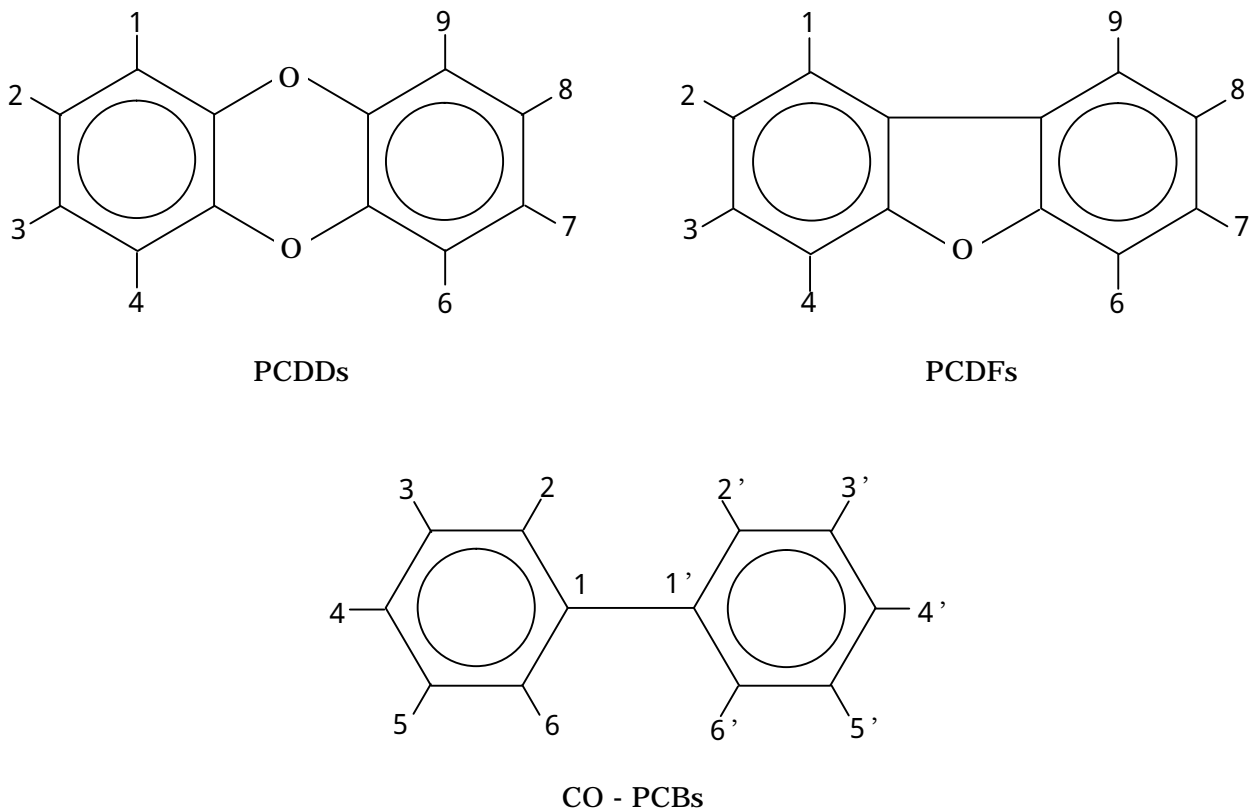
ダイオキシン類は 1 種類の物質ではなく、塩素を有する共通の化学構造をもった化合物の総称で、塩素の位置や数の違いによって 200 以上の異性体があります。

これらのうち、毒性があるとされているものは 29 種類で、それぞれ個別に TEF(毒性等価係数)が定められています。

ダイオキシン類は基本的な構造から大きく分けて、PCDDs (ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン)、PCDFs (ポリ塩化ジベンゾフラン)、CO-PCBs (コプラナーPCB) の 3 種類があります。

コプラナーPCB は DL-PCB (ダイオキシン様 PCB) とも呼ばれています。

### ダイオキシン類構造図



### TEQ (毒性等量)

ダイオキシン類の異性体で毒性があるとされる 29 種類のうち、最も毒性の強い 2,3,7,8 - TCDD (四塩化ジベンゾパラジオキシン) の毒性を 1 として、それぞれのダイオキシン類の実測濃度に毒性等価換算係数 (TEF) を掛けた数値の合計。

なお、TEF は WHO (2006) の値を適用しました。